

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

1994 年から今日(2007 年)までに起きたヨーロッパの大事件は、E U加盟国の拡大です。2004 年、中央ヨーロッパと東ヨーロッパの国が正式加盟しました。それはソビエト連邦の帝国から西側へと統合されたすべての国が、E Uへ移行したことを意味しています。すなわち、エストニア、ハンガリー、ラトヴィア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロヴァキア、スロヴェニア、チェコ、さらにキプロスのギリシア側（トルコ側は加盟が認められていません）の加盟です。この 25 か国に 2007 年にはブルガリアとルーマニアが加わりました。2009 年にはおそらくクロアチアが加盟するでしょう〔2009 年現在未加盟〕。その外に、ヨーロッパの東から中央アジアにまでひろがる、ロシアを中心にした独立国家共同体〔C I S 2009 年 8 月現在、正式加盟は 11 개국〕と、スロヴェニアの東側国境に隣接する地域を残して、ヨーロッパはおそらく内部発展の長い道のりをたどるでしょう。ド・ゴール将軍の言葉「ヨーロッパは大西洋からウラルまで」は過去のものとなりました。

中略

統一されたヨーロッパはすでに驚くべき進歩を実現しました。ヨーロッパ人同士が戦争をすることはもうないでしょう。民主主義はいきわたり、死刑は廃止され、加盟国間に国境のない空間——シェンゲン領域（シェンゲンは 1985 年に最初の条約が調印されたルクセンブルクの村）——には 2008 年現在、25 か国が加盟しています。ブリュッセルの欧州委員会は少しずつですが、前進しています。ヨーロッパとは長い忍耐なのです。それでもヨーロッパの建設には、いっそうのダイナミズムをとりもどしてほしいものです。ヨーロッパのためにもっと真摯に働くよう、政府と政治家に求めるべきです。イギリス人がもっとヨーロッパ人になるよう助けること——ヨーロッパにはイギリスのもっと積極的な参加が必要なのです。とにかく、自分たちのことなのに引っ込み思案で縮こまり、前へ進むのを怖がるような生ぬるい人びとの真似だけはしないでください。欧州懐疑論者とよばれる人びとがその懐疑主義を捨て去るのを、助けなければなりません。

どんなヨーロッパ？

人口、経済力、文化的影響力について E Uの大きな目的のひとつは、他の世界規模の集合体とつりあいをとることです。21 世紀、人類はいわゆるグローバリズムによって、世界中で強者の支配を受ける状態にあります。

現在、統一されたヨーロッパは 430 万平方キロメートルの面積と 4 億 9000 万の住民を有

します。他の大国とくらべてみると、合衆国は 964 万平方キロメートルの面積に 2 億 9900 万人、中国は 958 万平方キロメートルに 13 億 1100 万人、インドは 330 万平方キロメートルに 11 億 2200 万人です。これには経済力対軍事力の比較を加えるべきでしょう。これらの分野での超大国はアメリカ合衆国であり、中国とインドが成長しています。一方ヨーロッパは原材料の不足に悩みながらも非常に産業化されており、堅固な基盤をもつ経済の伝統があります。

おそらく、統一されたヨーロッパの優先目標は、共通のエネルギー政策や環境保護と並んで、共通経済政策の実現でしょう。とくにヨーロッパ共通の銀行の支配をさけるべきです。ヨーロッパ共通の銀行はヨーロッパに役立つべきものであって、ヨーロッパを統治すべきではないのです。いずれにせよ、単一通貨ユーロはひとつの進歩です。中世において、通貨が多様で、たえず両替に頼っていたことが、ヨーロッパの経済発展にブレーキをかけました。しかし EU の全加盟国が自国の通貨としてユーロを導入したわけではありません。2007 年現在、ドイツ、オーストリア、ベルギー、スペイン、フィンランド、フランス、ギリシア、アイルランド、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ポルトガル、スロヴェニア、マルタ、キプロスの 15 か国だけがユーロを採用しています〔2009 年、スロヴァキアがユーロを導入したため、16 か国で採用〕。ユーロはこれらの国々に、困難よりは改善をもたらしたと思います。

中略

大ヨーロッパは窓のない家であってはならず、開発のためではなく、対話し支援するため、南半球に、第三世界に、そして全世界に開かれていることが大切です。

さらに、ヨーロッパは経済、金銭、ビジネス、物理的利益だけに支配されるべきではありません。文化と文明のヨーロッパであるべきです。それがいつの時代もヨーロッパの最善の切り札であり、いちばん尊い遺産なのです。思い出してください、ギリシア＝ローマ、キリスト教、ユマニスム、バロック、啓蒙時代などを。

人権——ヨーロッパが作り出したものです——、女性の権利、子どもの権利を大切にすることをヨーロッパであるべきです。不平等、失業、排除——ヨーロッパの人々がいっしょになってはじめて、なくすことができる悪——と闘う、もっと公正なヨーロッパ。人間と生きものと自然のバランスを大切にすることに、いっそう気をくばるヨーロッパ。

よき美しきひとつのヨーロッパの実現は、みなさんの世代に託された大プロジェクトだと思います。人間には、とくに若いときには、理想となり情熱を注ぐべき大きな目標が必要です。ヨーロッパの建設に情熱を傾けてください、その価値はあります。その実現にみなさんが力を貸してくれるのなら、たとえ試練と向き合わなくてはならなくなっても、ヨーロッパはむくいてくれるでしょう。努力なくして大きなことが成し遂げられることはありません。

2023 年度神戸市外国語大学
特別選抜（帰国子女・外国人留学生） 入学試験問題【小論文】

ジャック・ル・ゴフ著 (*L'Europe expliquée aux jeunes*, 2007) 前田耕作監訳 (2009 年)『子どもたちに語るヨーロッパ史』、筑摩書房、pp.139-147 より抜粋

*本文中の〔 〕は訳者による註です。

出題に際して、表記を変更した箇所があります。

設問.

設問の文章は 2007 年に書かれたものです。当時と現在のヨーロッパの状況の変化をふまえて、地域統合を実現させるための課題とその解決策について 800 字以内で述べてください。